記者発表資料

平成２９年６月２９日
岩木川改修期成同盟会
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所

岩木川改修１００周年記念事業実行委員会設立総会を開催

～平成３０年に大正７年１２月から始まった岩木川改修事業が１００周年を迎えます～

岩木川改修期成同盟会と青森河川国道事務所では、下記のとおり、「岩木川改修１００周年記念事業実行委員会設立総会」を開催します。

本実行委員会は、岩木川改修事業の１００周年という節目を迎える今期を機会に、一世紀にわたる事業の足跡と水害の歴史を振り返るとともに、岩木川改修に携わった諸先輩方の業績や教訓を後輩に伝え、地域とともに水害に備えた地域づくりを目指し、岩木川の未来を考えることを目的に設置するものです。

記

■日　　時：　平成２９年７月３日（月）　１３：３０～

■場　　所：　プラザマリュウ五所川原　１階ホール
（青森県五所川原市雛田１８１－２）

■主な内容：　１）実行委員会設立趣意書について
２）実行委員会会則、役員選出について
３）岩木川改修１００周年記念事業（案）について

■公 開 等：　・本会議は公開としております。
・報道関係者の席を用意しております。
・一般の方で会議の傍聴を希望される方の席も用意しておりますが、会場の都合により数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

※詳細については、青森河川国道事務所ＨＰ「岩木川改修１００周年」ページをご覧下さい。
（http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/topics/iwaki100th/index.html）

ＱＲコード

発表記者会：青森県政記者会、建設関係新聞社、津軽新報社

お問い合わせ先

岩木川改修期成同盟会　事務局（五所川原市　建設部　土木課）
五所川原市字岩木町 12 番地　　tel 0173-35-2111
土 木 課 長　　佐々木　秀文（内線 2610）

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　　tel 017-734-4521（代表）
副所長（河川）　安部　剛　　（内線 204）
調査第一課長　　田村　公仁　（内線 351）

岩木川改修１００周年記念事業実行委員会　（案）

NO	職名	氏名	備考
1	五所川原市長	ヒラヤマ　マサトシ 平山　誠敏	岩木川改修期成同盟会　会長
2	弘前市長	カサイ　ノリユキ 葛西　憲之	岩木川改修期成同盟会　副会長
3	黒石市長	タカヒ　ケン 高樋　憲	岩木川改修期成同盟会　副会長
4	平川市長	ナガオ　タダユキ 長尾　忠行	岩木川改修期成同盟会　理事
5	中泊町長	ハマダテ　トヨミツ 濱舘　豊光	岩木川改修期成同盟会　理事
6	西目屋村長	セキ　カズノリ 関　和典	岩木川改修期成同盟会　理事
7	つがる市長	フクシマ　ヒロヨシ 福島　弘芳	岩木川改修期成同盟会　監事
8	鶴田町長	アイカワ　マサミツ 相川　正光	岩木川改修期成同盟会　監事
9	青森市長	オノデラ　アキヒコ 小野寺　晃彦	岩木川改修期成同盟会　会員
10	板柳町長	ナリタ　マコト 成田　誠	岩木川改修期成同盟会　会員
11	藤崎町長	ヒラタ　ヒロユキ 平田　博幸	岩木川改修期成同盟会　会員
12	大鰐町長	ヤマダ　トシノブ 山田　年伸	岩木川改修期成同盟会　会員
13	鰺ヶ沢町長	トウジョウ　アキヒコ 東條　昭彦	岩木川改修期成同盟会　会員
14	深浦町長	ヨシダ　ミツル 吉田　満	岩木川改修期成同盟会　会員
15	田舎館村長	スズキ　コウユウ 鈴木　孝雄	岩木川改修期成同盟会　会員
16	青森県県土整備部長	アサリ　ジロウ 浅利　次郎	
17	国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所　所長	サコン　ヒロユキ 佐近　裕之	
18	国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所　所長	クリタ　ノブヒロ 栗田　信博	

岩木川改修100周年

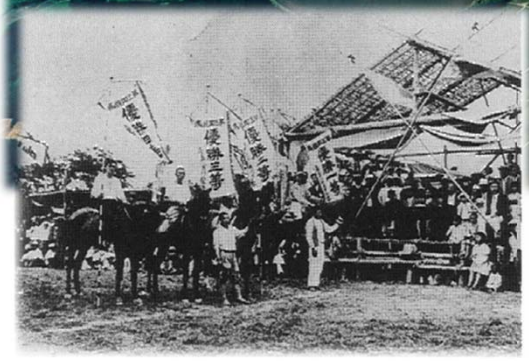
～平成30年に大正７年12月から始まった岩木川改修事業が100周年を迎えます～

岩木川の治水事業は、藩政時代津軽藩において「十川の改修」（現：五所川原市内）「大川掘替え駒越川一筋に治す」（現：弘前市）などが行われ、領内繁栄のための水害防止に全力あげたと云われております。

近代治水事業の幕開けは明治時代からで、岩木川は明治４４年、政府が策定した全国治水計画における、国直轄で改修すべき６５河川のうち、第一期改修の２０河川に位置づけられました。

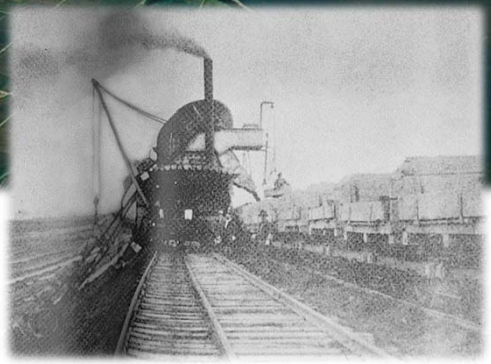
その後、大正７年１２月１日に当時の五所川原町（現在の五所川原市）に、『内務省秋田土木出張所岩木川改修事務所』が開設、国直轄による本格的な改修事業が始まりました。





▲起工式の際の催し（大正10年9月）

五所川原町は空前の大賑わい
改修工事によせる住民の関心と期待が大きかった。



▲バケット式短梯掘削機（蒸気機関）

掘削・築堤工事施工のため、大型機械が導入され、大いにその威力を発揮し、地域住民は目を見張っていたと言われている。



▲運搬機（蒸気機関）と土運車

岩木川のこれまでの主な改修工事

十三湖水戸口突堤建設

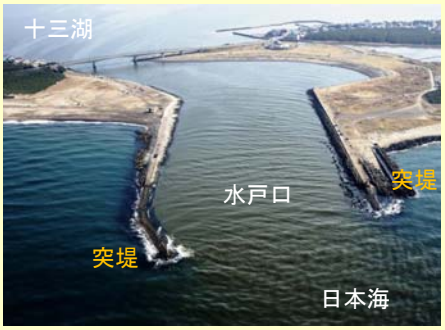
・下流部は、十三湖水戸口の閉塞により、水位上昇・逆流、塩害、排水不良地であった。
・大正15年に突堤建設に着手し、昭和21年に完成。以降、河口は閉塞されることなく維持されている。
・平成28年9月に選奨土木遺産に認定。


▲腰まで浸かる「腰切田」


▲胸まで浸かる「乳切田」



▲水戸口閉塞状況（大正14年8月2日）



▲突堤完成後の水戸口

十三湖囲繞堤建設

・戦後、右岸囲繞堤・左岸囲繞堤整備と同時期に、食料増産「十三湖干拓事業」としての土地造成事業が行われた。
・現在では、水戸口突堤の効果と相まって、湿田は乾田化され、美田に生まれ変わり、日本有数の穀倉地帯となっている。

十三湖への流入地点▶



昭和23年



平成8年

上・下流部の整備

・昭和50年・52年洪水（戦後最大規模）を受け、平川・浅瀬石川・土淵川を激甚災害対策特別緊急事業及び災害復旧助成事業により集中整備するとともに、「緊急施工計画」を策定し、岩木川上・下流部の無堤箇所及び計画高水位より低い箇所を整備（河道掘削、築堤）。
・岩木川沿川の治水安全度の向上と共に住宅化が進展。


▲土淵川（弘前市川端地区）昭和50年8月洪水


▲後長根川（弘前市中崎地区）昭和52年8月洪水

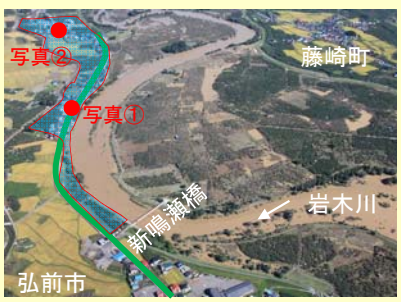

昭和33年


平成15年

▲弘前市富士見橋下流の変化

中流部の整備

・平成8年板柳地区から中流部を集中的に整備し、右岸堤については、平成24年までに連続堤として一連の効果を発現。
・しかし、平成25年9月台風18号出水で、中流部において計画高水位を超え、無堤の上中畑地区及び大川・三世寺地区で浸水被害が発生したことから堤防工事を着手。平成29年3月に整備が完了し、岩木川堤防が全てつながった。



▲平成25年9月台風18号洪水出水状況

：浸水範囲
：主要地方道弘前柏線路

①

▲主要地方道弘前柏線の冠水状況（弘前市大川地先）

②

▲介護老人保健施設の浸水状況（弘前市大川地先）



▲堤防整備後（平成29年3月）